

「かっこいい自分」だけではだめ

荘島小学校 五年

「弱い自分を認める覚悟をもつこと」

水俣市に社会見学へ行き、杉本肇さんがいわれた言葉だ。そのあとに、こう続けられた。

「弱い自分を認めるということは、自分を知ること。そうすることで、人は再生をしていく。」

わたしは、この言葉を聞いて、「弱い自分を認めることで、強くなれる」と言われたような気がした。この言葉をきっかけに、自分をふり返ってみた。今までは、「弱くないかっこいい自分」を見せようとしてきた。でも、「何でもできるかっこいい自分」を見せようとするのではなく、素直な弱い自分も見せる方がかっこいいんだと思った。

今の自分は、朝になると、「何かいやなことがあるかもしれない。友だちに何か言われるかもしれない。」と想像してしまっ、学校に行かないこともあった。実際、学校へ行くと、友だちと過ごすことは楽しいし、朝の不安もなくなってくる。少し楽をしようとする自分になってしまってい

た。ミナマタの学習を通して、おかしいことに立ち上がっていくかん者さんの姿や辛いことがある中でも、自分が変わろうと行動していく姿、人とのつながりを取りもどそうと「もやい直し」をしていることを知り、楽な道にいつている自分がおかしく思えた。

また、友だちに強い言葉を言ってしまったり、周りの人のことを考えずに、自分のことだけを考えて行動したりすることもあった。自分でも、悪い道から正しい道へともどそうとしているけど、なかなかもどせない自分もいる。でも、そのままにするのではなく、杉本さんが言われたように、弱い自分を認めながら、自分のことをふり返ることを続けて、正しい道にもどろうとすることを意識していきたい。弱さも認められる自分でありたいと思う。